

をしていきたいと考えている。

喚田孝博（自民党市議員）

### 第3次障害者計画の

### 重点・新規事業について

**問** 地域生活支援拠点等の整備について何う。

**答** 障害の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じて、平成32年度末までに整備することを目標としている。

**問** 就労定着支援の充実、市役所の障害者の雇用率と今後の取り組みについて何う。

**答** 障害者の雇用促進等を支援する機関が加わっている就労ワーキンググループを通じて、また、障がい者支援センターとも連携を密にし、就労定着支援事業所の確保に努めたい。

また、30年6月1日現在の実雇用率は、約2・2%で法定雇用率を下回っている。今後は、募集回数を増やしたり、採用条件等を見直しを検討する。



あじさいくりんバス

**問** 手話言語・障害者コミユニケーション条例についての市の考えは。

**答** 市独自の条例制定は、当事者等の意見を聞き、今後研究していく。

日恵野佳代

（無党派・日本共産党）

### 市内どこでも巡回バスを

**問** 全国では、65歳以上の4分の1、75歳以上の3分の1の人が家の近くに食料品店がなく、車を利用できない買い物弱者といわれている。買い物弱者を救うという観点から公共交通を考えるべきではないか。

**答** コミュニティバスの説明会を開いた地区からも、そのような意見を聞いている。いろいろな施策の中で考えていきたい。

LGBT（性的少数者）の人権を守る市政を

**問** 正しい知識を学ぶことが重要であり、市職員や教職員への研修が必要だと考えるが、対応は。

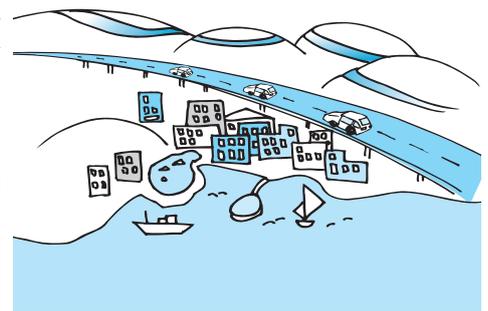
**答** 性の多様性を学び、差別、偏見のない公平・公正な対応ができるように市職員研修を平成30年度に予定している。教職員については、さまざまな研修の中で、LGBTを人権教育の課題と位置づけ、まず教職員が知ることから始め、理解を深めていきたい。

鈴木基夫（自由クラブ）

### ヘルスケア計画の

### 課題と今後について

**問** 再生医療等のヘルスケア産業がこれからの主要産業として期待される。ヘルスケア計画の現状とそ



の課題について何う。

**答** ヘルスケア計画には2つの基本方針がある。「市民の健康・予防と早期発見・回復」では、健康がまごおり21計画に基づき健康づくり事業を実施している。「再生医療等のヘルスケア産業の育成・集積」では、ラゲーナ蒲郡地区を産業が集積され、雇用を生み出す新たな成長拠点と捉え、ヘルスケア基本計画に基づきヘルスケア産業の育成・集積を目指しているが、愛知県地域医療構想の方針もあり、現在のところ事業者誘致には至っていない。

**問** ヘルスケア産業の育成・集積について、今後の取り組みは。

**答** 引き続きラゲーナ蒲郡地区への企業誘致の可能性を模索するため、土地所有者と協力して、事業者との意見交換や優遇施策の検討などを行っていきたい。

松本昌成（公明党市議員）

### 市内事業者向け支援の相談窓口について

**問** 市内事業者向けに総合的な支援をしてくれる相談窓口の状況は。

**答** 高度で特殊な相談の問い合わせがあった場合は、あいち産業振興機構等を紹介しているが、一歩身近な相談窓口は、蒲郡商工会議所である。さまざまな

